

新しい交通手段導入に向けた実証実験の検討を開始しました。

北千住駅東口から発着していた北千住線（北千住駅～南千住駅）のバス路線廃止に伴い、令和5年10月に常東地区町会・自治会連合会より、乗合型デマンド交通導入の要望がありました。これを受けて区と地域で連携しながら、導入の可否を問う実証実験の検討を進めています。

なお常東地区は、地域の交通課題解決に向けた住民主体の取り組みを区がサポートする、「地域内交通導入サポート制度」（区独自）のモデル地区第一号に決定しています。

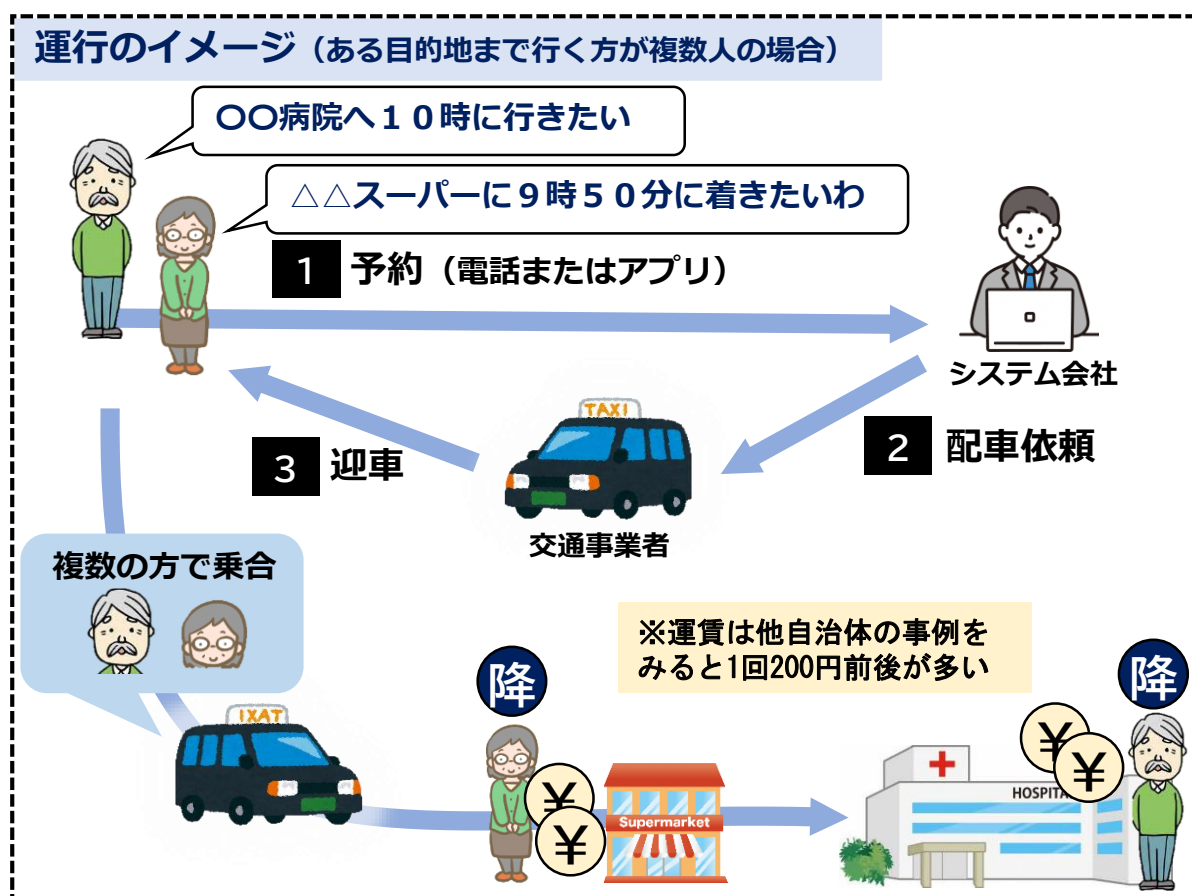
1 乗合型デマンドタクシーとは

POINT 1 予約（交通需要＝デマンド）に応じて運行

時刻や運行路線が定まっているバス交通とは異なり、事前予約に応じて運行する交通手段です。予約がない場合は稼働がないので地域の需要に合わせやすいのが特徴です。

POINT 2 システムにより経路や乗り降り順を計算

利用者が**1人の場合**でも目的地まで行きますが、同じ方向に行く方が**複数人いる場合は乗合**となり、専用システムが最適な経路や乗り降り順を導き出します。



※ 持続可能な交通手段とするためには、**一定数の利用者がいることが前提**となります。
利用者が少ない場合は**本格運行には移行せず、実証実験で終了の可能性もあります。**

2 常東地区内 移動実態アンケート調査（令和6年1月実施）回答者数：480名

アンケート結果の分析



アンケート結果の
詳細はこちらから→



- ① 常東地区内での移動は**70歳以上でも徒歩・自転車が多い**
- ② 70歳以上は駅、病院、スーパーとも**利用時間帯が9時から17時に集中**
- ③ 年代問わず駅、病院、スーパーとも**週数回の利用がほとんど**

➡ 常東地区の実情や採算性を踏まえると以下の交通手段が考えられます



- バスのような定時定路線型ほどの大きな需要は見込めないため、予約に応じて運行する交通手段が適している
- 日常でよく利用されている**時間帯**や、適切な**運行日（週3日等）**を限定する
- 徒歩・自転車利用も多いため、まずは**車両1台**（ワゴン車等）から運行する

3 実証実験での経費の目安について

地域内交通手段の導入検討する地域とそうでない地域との公費負担の公平性を保つため、実証実験にかかる経費の目安は以下のとおりです。

【計算式】

$$\frac{(\text{運行経費} - \text{収入（運賃収入及び協賛金等）})}{\text{推定の利用者（回数）}} = \text{おおむね } 1,500\text{円/人}$$

利用者1人(1回)当たりの
区負担額



利用者からの運賃収入に加え、地域の企業等から協賛金を得ることで採算性が向上し、持続性のある交通手段の一助となることが期待できます。

※モデルケース（半年間）

- ・ 1日50人の利用
- ・ 運賃200円
- ・ 月20日稼働

運行経費※

1,020万円

収入

120万円

利用者

6,000人

＝ 1,500円/人

※ 運行経費には交通事業者への支払い、システム使用料、車両リース代などが含まれます

4 今後のスケジュール ※検討開始から実証実験開始まで1年から1年半程度かかります

アンケート調査
済

運行需要の予測

運行事業者の選定

協定の締結

関係者協議
運行計画の検討

関東運輸局へ
事業許可申請

周知PR
実証実験（半年間）